

令和6年度（2024年度）

第1回東海市上下水道運営審議会会議録

（令和6年（2024年）11月1日開催）

令和6年度（2024年度）第1回東海市上下水道運営審議会会議録

1 開催日時 令和6年（2024年）11月1日（金）

（1）開会 午前9時30分

（2）閉会 午前11時40分

2 開催場所

東海市役所 2階 201会議室

3 議事等

（1）市長あいさつ

（2）委員自己紹介

（3）事務局職員紹介

（4）会長選出

（5）会長職務代理者指名

（6）諮問

（7）審議事項 水道事業の経営状況について

4 出席委員（敬称略）

谷口庄一、中野諭、水谷満広、下村厚子、大村景子、服部和子、加藤龍子、大倉将之、久野秀一

5 欠席委員（敬称略）

鈴木順子、堀口美喜雄

6 事務局出席者

水道部長 小林きよみ、経営課長 石濱彰洋、水道課長 片岡靖博、経営課主幹 田中直樹、経営課統括主任 北川徳康、水道課主幹 星野堅、水道課統括主任 柏崎悟史、経営課主任 長谷川将司

7 公開、非公開の別

公開

8 傍聴者数

0人

9 議事内容

令和6年11月1日上下水道運営審議会

事務局：定刻になりましたので、ただいまから令和6年度第1回東海市上下水道運営審議会を開催いたします。

本日の審議会は、公開となっておりますので、よろしくお願いします。

事務局：はじめに東海市長から御あいさつを申し上げます。

市長：（あいさつ）

事務局：本日は委嘱後初めての上下水道運営審議会となりますので、委員の皆様より本日の資料の委員名簿の順に自己紹介をお願いします。

各委員：（自己紹介）

事務局：それでは、本日出席しております事務局側の市の職員を紹介させていただきます。

（事務局職員あいさつ）

事務局：それでは審議事項に入ります前に会長の選出を行います。会長が選出されるまでの間、市長が仮の議長を務めますのでよろしくお願いします。

市長：ただいま司会者から説明がありましたように、会長が選出されるまでの間、議事の進行をさせていただきますので、御協力をお願いします。

会長の選出につきましては、審議会条例第5条第1項の規定により、委員の互選により定めることになっております。

互選の方法につきまして、御意見がございましたら御発言をお願いいたします。

委員：指名推薦をお願いします。

（指名推薦で異議なし）

委員：会長には、前回の審議会では、谷口委員に会長をお引き受けいただいております。これまでのご経験を生かしていただくという形で、再度谷口委員にお願いできればと思います。

市長：委員から指名推薦で谷口庄一委員を会長にとの御発言がありました。ほかにございませんか。

ほかにないようでございますので、谷口庄一委員を本審議会の会長になっていただくことに、御異議はございませんか。

（異議なし）

全員異議なしと認め、会長は、谷口庄一委員に決定いたしますので、よろしくお願いします。

谷口庄一委員、会長の席へお願いします。それでは、谷口庄一会長から御就任の御あいさつをいただきます。

会 長：(あいさつ)

事務局：続きまして会長職務代理者の指名をお願いします。

会 長：職務代理者は、審議会条例第5条第3項の規定により、「会長があらかじめ指名する」ことになっておりますので、私から指名させていただきます。

職務代理者には、人物、学識経験とも卓越した、中野諭委員を指名させていただきます。

中野委員には、職務代理者席へ移動をお願いします。それでは、中野諭委員から御あいさつをいただきたいと思います。

職務代理者：(あいさつ)

事務局：それでは、市長から、会長に諮問をさせていただきますので、よろしくお願いします。

市 長：(諮問文を読み上げ、会長に渡す)

事務局：ここで、市長は公務のため退席させていただきますので、よろしくお願いします。

それでは、ただいまから谷口会長に議事進行をお願いしたいと思います。よろしくお願いします。

会 長：続きまして、本日の審議事項 「水道事業の経営状況について」を審議してまいりたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

ただいまから、事務局が資料に基づき説明をいたしますが、そのあと今回説明したものについて質問をお願いしたいと思いますのでよろしくお願いします。

それでは、事務局から説明をお願いします。

事務局：(資料1ページから34ページまでを説明)

会 長：事務局より資料に基づき説明を受けましたが、それについて質問等がある方は御発言願います。

委 員：17ページ目の水道メーターの基本料金の口径別で、東海市の特徴として口径別の分布といいますか、構成比というのはどうなっていますか。20ページ、

21ページのところで家族の規模が大きくなり、口径が多くなった時に、この自治体別の順位を見ると金額が変動しています。

つまり、使用量が多くなったときにどのくらい水道料金が上がるか、上昇幅がかなり自治体によって違うと思います。例えば、料金改定を考えたときに、規模によらず一律で増加するのがいいのか、それとも傾斜をつけた方がいいかなど考えてみなくてはいけないと思います。口径別の使用者の料金の負担割合がわかると今後の参考になると思います。

事務局：13ミリの新設はワンルームなどに設置されており、一般の住宅は20ミリを使っています。

この13ミリと20ミリで約8割を占めています。

また、25ミリ以上は工場や共同住宅など数は少ないです。75ミリ以上となるとかなり大きな施設になります。

委員：平成21年に水道料金を引き下げたとあるがなぜですか。

当時どのように下げたのですか。また、どのように説明がなされたのか分かれば教えてほしいです。

値上げに対しては徹底的に説明しなければならないと思います。

事務局：当時水道事業は黒字が続いており、営業利益が出ていました。また、貯蓄もできていましたので値下げへと判断しました。

会長：水道事業の背景について事務局から説明をしていただきました。

当時と比べると今は、節水意識の増加、少子高齢化が進んでいます。

また、設備の更新を進める必要があります。地震が発生した場合の対応を万全にしていけないといけません。市が設備投資をして、市民はサービスを受けています。東海市はまんべんなく人が住んでいるため、50年後60年後までの管路の維持が必要となります。

今の職員が、判断を間違えないようにしなければならないと思います。

事務局：(資料35ページから50ページまでを説明)

会長：事務局より説明がありましたが、何か質問等がある方はいますか。

委員：前半、後半見ても値上げする必要があるのではないかと考えています。

水道料金ですが、給水人口が増えれば使う人が多くなると考えますが、人が増えていても水を使うことが少ない原因を考えたときに、自分の団体のスタッ

フに聞いても水道から水を飲んでないとの回答が多かったです。買ったミネラルウォーターを飲んでいるとのことでした。マンションなどは貯水槽に貯められた水を飲むのはためられると思われます。水道水離れが起きているのではないかと思います。

口径１３、２０ミリとありますが、私の家は、大家族にかかわらず１３ミリでした。水圧の問題があり水圧が低く不便で、口径を２０ミリに変えて問題が解決されました。新築以外では口径を変更する人がいないと思います。値上げばかりではなく、家庭においても水を使用するように促す必要があると思います。

つまり、家庭や市民が飲み水も含めて、水を使っただけが大切ではないかと思っています。

事務局：一軒家については２０ミリを設置する指導をしています。

また、かつては大量に使われていた水が、少量になってきた要因として、例えば家庭のトイレでも一回の流す量が現在と過去では多く減少しています。

水道水を直接飲む量も減ってきていると思われます。

会 長：飲み水、トイレ、洗濯とか使用水量の比率はわかりますか。

事務局：特に把握はしていませんがトイレ、洗濯が多いのではないかと思います。

委 員：人口はどのように見込んでいるのでしょうか。また、４８ページの資金不足予想のところですが、確実な資産運用で増やすような、今あるお金を増やすことを行っているのでしょうか。ただ預貯金として積んでいるのか、もし運用で増やすことが可能であれば教えてほしいです。

事務局：人口は、総合計画で示されている横ばいから微増で考えています。

余裕資金は、定期預金を運用しており、銀行からの見積りで一番利率の高いものを採用しています。

委 員：４１ページの資本的支出の工事費は、管路の布設や更新などを実施していると思いますが、今後はどのような支出となっていくですか。

事務局：新設や更新で管路はほぼいきわたっています。今後は更新がメインとなり、中でも耐震化の工事を計画的に進めています。

委 員：耐震管はどれくらいの耐用年数があるのでしょうか。

事務局：ダクトイル鋳鉄管やビニール管の法定耐用年数は４０年となっていますが、

実際の使用年数は、おおよそ60年までとなっています。地質の状況によっては差があると考えていますが、本市では60年で新陳代謝できるように計画をしています。

委員：東海市は埋め立て地域が多いと考えているがどうでしょうか。

事務局：市民体育館のあたりは埋め立てになっています。水道水の中には塩素が入っているため塩素で酸化しますが、内部にはコーティングがしてあるため、何かの衝撃があり剥離すれば管が腐食する恐れがあります。

会長：今から10年15年後に更新が集中しています。20年30年後には大変なことが待っていると思われます。

委員：12ページの有収水量が減少している理由は人口だけではないのではないかと思います。

世帯構成の変化によって家庭で水を使う人が少なくなっており、管の老朽化も早めに直す必要があると思います。そのためにも、値上げする必要があると思います。

委員：日常的に水道を使っており、当たり前で水道水が出てきます。値上げについても最終的に仕方ないと思います。災害がいちばん気がかりで、以前ホームセンターで飲み水を買っていたが、災害の想定はしているのでしょうか。

事務局：平成6年の大渇水の際、本市は2週間断水を行いました。これからあるとしたら災害が考えられます。災害への備えとして、3つのポンプ場が連携されているため、能戸半島の地震のようにならないように備えています。また、本市では重要給水施設管路や基幹管路を優先的に行っており、大きな被害がないような構造となっております。

会長：すべての配水区は繋がっていますか。

事務局：すべての管は繋がっています。各ポンプ場がダウンしてしまった場合でもそれぞれがバックアップできるような構造になっています。

会長：東海市は、まずは基幹管路などの重要な管を優先して考えているということを理解しました。

委員：蛇口をいつひねっても水が出る状況を続けていけるように、水道施設の維持管理をしていただければいいと思います。

委員：水道事業の経営状況が非常に厳しいのは分かりましたが、効率化などの迫及、

生産性を高めるなどの、どこまでを含めて説得材料とするのか検討する必要があると思います。

会 長:多くの市民は説明を受けるわけではないため、市民への理解を深める必要や、経営努力の内容を示していく必要があると思います。

ほかに質問がなければ、これをもちまして、本日の審議会を終了させていただきます。

事務局:第2回の運営審議会は、令和7年1月10日(金)に開催いたしますのでよろしくをお願いします。